

1. 戦略企画部の役割等

(1) 戦略企画部の役割

戦略企画部は、

- ① 県政のトップマネジメント機能の強化
- ② 企画・政策提言機能の充実
- ③ 広聴広報機能の充実

をめざして設置されたものであることをふまえ、「幸福実感日本一」の三重の実現に向けて、「みえ県民カビジョン」に基づき県政全体が展開されるよう取り組みます。

(2) 戦略企画部が主担当となる施策・行政運営の取組

行政運営1「みえ県民カビジョン」の推進

【平成27年度末での到達目標】

「選択・集中プログラム」をはじめ、「行動計画」に基づく施策、事業に取り組むことにより、県政の課題解決が進み、県民の皆さんが取組の成果を感じ始めています。

行政運営6 広聴広報の充実

【平成27年度末での到達目標】

県民の皆さんへの一方的なお知らせにとどまらず、多様な媒体を活用した情報発信を行うなど、県民の皆さんが必要とする県政情報が容易に入手できるような広報活動を展開するとともに、県民の皆さんの声を幅広く受信する広聴機能がより一層充実しています。

2. 当初予算要求額（要求区分別）

単位：千円

	事業費	一般財源	主な内容
人件費	952,392	773,809	職員人件費
交際費等	2,407	2,407	知事交際費等
大規模臨時的経費	29,100	29,100	電波広報事業費 (データ放送を活用した情報発信)
庁舎管理経費等	383,003	368,594	県政だより事業費 電波広報事業費
政策的経費	279,100	38,181	
優先度判断調査の対象	43,559	38,181	行動計画進行管理事業費 計画推進諸費
優先度判断調査の対象外	235,541	0	※各指定統計で国費10/10の事業 (例) 住宅・土地統計調査費
計	1,646,002	1,212,091	

3. 平成25年度当初予算要求のポイント

(1) 「みえ県民カビジョン」の的確な進行管理

平成25年度は、「みえ県民カビジョン」の2年目を迎えることから、「みえ県民カビジョン」の的確な進行管理を行うための取組を、引き続き実施します。

○主な事業

【 行動計画進行管理事業費 6,431千円 (政策的経費:4,832千円) 】

「三重県経営戦略会議」や県民の皆さんの参画のもと進める「新しい豊かさ協創プロジェクト推進会議」などにおける意見等を踏まえ、「みえ県民カビジョン」の着実な進行管理を図ります。

【 計画推進諸費 4,332千円 (政策的経費:4,332千円) 】

県民の皆さんの幸福実感の推移等を把握し、県政の運営に活用するため、「みえ県民意識調査」を行います。

(2) 広域連携の推進

県境を越える課題解決のため、近隣府県・全国知事会等との連携を進めるとともに、積極的な提言を引き続き行います。さらに、共通課題を有する都道府県との連携を進めていきます。

○主な事業

【 中部圏・近畿圏連携強化費 3,873千円 (政策的経費:933千円) 】

中部圏、近畿圏の知事会等に参画して、多様な課題について協議を行い、連携事業や国への政策提言活動などに取り組みます。

【 広域連携推進事業費 11,691千円 (政策的経費:1,693千円) 】

全国知事会や関係府県等のさまざまな主体と連携し、伊勢湾の再生や紀伊半島地域の振興、地方分権改革など、多様な課題の解決に向けて取り組みます。

(3) 効果的な広報機能の充実

県政運営に係る情報や課題等をわかりやすく提供するために、「県政だより」「新聞」「ラジオ・テレビ」「インターネット」などさまざまな媒体の特性を生かしながら、情報発信を行います。

○主な事業

【 県政だより事業費 183,888千円 (政策的経費:0千円) 】

県政の重要施策、制度、お知らせなどをわかりやすく掲載し、県内各世帯に配布することで、さまざまな県政情報を県民の皆さんが手軽に入手できるよう取り組んでいきます。

【 電波広報事業費 91,512千円 (政策的経費:0千円) 】

ラジオ・テレビといった電波広報媒体が持つ「情報の速報性」、「映像による説得性」などの特性を生かし、県の重要施策等を県民の皆さんにわかりやすくリアルタイムで発信します。

4. 政策的経費の優先度判断の考え方

事業の優先度判断に係る5つの視点 ①「みえ県民カビジョン」の目標達成、②「平成25年度三重県経営方針(案)」の推進、③県民ニーズ、県民生活への影響、④緊急性、⑤法令義務)を踏まえ、1つ1つの事業について、戦略企画部の役割である「県政のトップマネジメント機能の強化」、「みえ県民カビジョン及び行動計画」の着実な推進に向けての影響の大きさなどを総合的に勘案し、優先度を判断しました。